



サカタ二友の会ニュース

和魂商才

当社参加「日本名門酒会」
会報誌4月号に飯田博最
高顧問がお書きの巻頭文
の転載です。(文一部略有)

相も変わらざる不況の
ニユースに心が沈みます
が、米国の金融危機によ
る輸出産業を主とする大
企業の急激な落ち込みと
違つて、我々の酒類業界
は、やりかたによつては
十分に防げるもので、想
定外のものではないと思
います。政治の不安定も
当分続く様ですが、世界
全体からみればいくらか
安定している様に思いま
す。ただ、今迄の様な安
楽な経済状況は望まれま
せんし、生活防衛のため
消費は押さえられるでし
う。これを機会に「清貧
の思想」を再び取り戻し、
地に足をつけて高い志を
持つ哲学を一人一人持た
ねばなりません。「時代」
の変化と共に、当然、消
費動向も変わり、堅実な
世相が醸成されるかもし
れません。(以下一部略)

発行者
株式会社サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
yosi.rou@sosake.jp

歴史を振り返りますと、昔から度々の災害や戦争を経験し、その中から日本民族は誠実に、ひたすら努力を重ねて参りました。明治以来、西欧列強の亜細亜進出に対して富国強兵の世論から、日清・日露の戦争を経て大國化していきます。その行き着いた先の第二次世界対戦で大敗北に至り、振り出しに戻り、昭和20年からの再出発となりました。

アメリカから当時の最先端の文明が一気に流れ込み、そのまばゆいまでの明るさに一気に呑み込まれ、すべてがアメリカにナイズされ、アメリカに次ぐ経済大国にまで登りつめました。その反面、当然の帰結として、日本古来の宗教観も、日本社にに残された古来からの良風美俗も失われました。その結果、現在の風潮を見ると一握りの勝者と多くの敗者という社会構造まで造り出していると思

も無く、極度の貧困も少なく、豊かな水に恵まれ、春・夏・秋・冬の風光明媚なこの国の良さ・豊かな文化を、深い感謝と共に高く向上させてゆく事が大事だと思えます。この不況を与えられた奇貨()として受け止め、逆転のチャンスとしたいものです。

「和の魂」をもって「商才」を発揮する力一杯の努力を致しましょう。まさに「和魂商才」の時代とも言えましょう。(以下一部略)

WBCで日本の侍ジャパン」が多くの困難の中一致団結して世界一を勝ち取りました。苦しい中、強い精神力と「ねばり」で世界に大きい感動を与え、まさに、「為せば成る」を見せてくれました。すべての日本人が久し振りに味わった素晴らしい感動でした。明日への希望と喜びを持って前進しましょう。(以下省略)

() 奇貨「利用すれば大きな利を得るチャンス」

日本名門酒会は本物志向の日本酒を販売することにより、民族の酒である日本酒を守り、その質的向上発展に寄与します。

日本名門酒会は個性のある優秀な日本酒と併せて本物志向の優秀な商品の品揃えを通じて愛される個性的な店づくりと情報提供に努力します。

日本名門酒会は品質に応じた受当な価格で顧客の信頼関係を築き上げます。

日本名門酒会は販売活動を通じて、新しい顧客層の開拓・創造を心がけ、食文化の向上と豊かな生活の提案に寄与するよう努力します。

日本名門酒会は同志的結合をもつて互いに協力し、社会に貢献できる大きな理念の実現に邁進します。

右の五条は、日本酒が「三増酒」も多く、酒質より「級別」優先で流通していた時代に創られ、当社も草創期から参加した「日本名門酒会」の約束事です。

第52回・4/19日開催
朝粥食べて
おしゃべり会・報告



今回は朝粥を食べる前(9時~9時40分)「人間ってなんやろか?」と題したお話を元朝日放送テレビプロデューサー、現在、社会福祉法人青葉学園理事長の村田弘道先生からお聞きした。



写真は1978(昭53)の当社

税務署とモメタ看板

看板は日本地図に日本名門酒会12銘柄の酒、下部分は低価格酒「京晴」を掲示。隣は当社運営の「東山めん坊」(讃岐うどん)1986年ビルに建替。制作費38万円の広告費を認めない税務署と大いにモメて、最終的に当社の処理は是認された「日く付き看板」です。

「どんちや」

4月17日・NHK・TV「男の介護」で、男が女の介護する闘いに近い現場を見た。我が身に置きかえると寒気がした。商売や仕事は「馬鹿か」と言われるほどのすが、掃除・洗濯はおるか炊飯器の使い方も知らない。これはイカンともし難い男だと私「も」反省させられた。

昔、仕事は、男と女で分けられ、私の少し下の世代までその中で育っている。男の方は憲法上「男女同権」は認めても、身体で理解出来ていない。女は憲法上も身体でも「男女同権」を理解し、昔は成れなかつた職業分野に進出、主婦業を立派にこなした仕事を兼ねる人も少なくは無い。

「主夫」も今は少ないが、年金生活に入る「粗大ゴミ」扱いになる人も、又、多いらしい。我輩はならないが!?

それは「外」へでないから。集西楽「朝粥会・ピアノサロン・童謡コーラス」も男は少ない!粗大ゴミになりたくない男は来たれ。男をそうしなく無い女は男連れて来るべし。女男同権だよ。

ヨシイちゃんのひとりごと



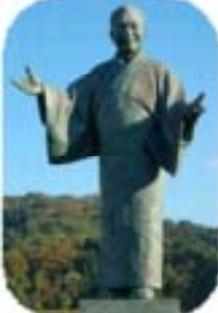
お客様は神様だろっか？

「お客様は神様です」がいます。2001年(平2)4月14日に亡くなられた大歌手三波春夫さん(以下敬称略)が舞台から

観客に語りかけていた言葉です。派手な和服と明るい笑顔、声は良いし歌も美味い。紅白31回出場の三波春夫の言葉は、あつと言う間に全国に拡がりました。ご自身は「お客様に自分が引き出され舞台上に生かされる。お客様の力に自然に神の姿を見るのです。お客様は神様のつもりでやらなければ芸ではない」という思いの発言でお客様に媚びた訳ではないと語っていたそうです。

広がりが大きいほど、時が過ぎるとご本人の気持ちと違う使用れ方になることが多い。最近では「お客様」を「消費者」と置きかえて使い、言葉だけでなくお客様も中心で「消費者は王様(神様)」と思

い込む人が増えたように思えます。アチコチでその証明



三波春夫氏之像 新潟・長岡市

は出来ませぬ。野球場での「フアウル」。駅の「黄色い線」の注意アナウンス。老眼では見えない小さい字の「薬の注意書き」など何れも「神様の機嫌」を損わないために、言い、書いているとしか思えないのです。

私も「お客様は神様に近い方々」と思っていました。コンビニ仕事の経験で「友の会会員様」を除けば、そうでは無い方もあると知りました。大銀行でもお客様用フロア、近く「トイレ」は無く開放もしてません。デパートでも「トイレ」探しに困ることがありますが、コンビニには直ぐわかる位置にあり開放して置

いてある「紙ロール」や時には「防臭剤」も消えるのです。神様が「神ロール」をお持ち帰りではシャレにもなりません。店頭(当社境内?)に「ミニ入れ」を設置し有料で処理業者に処分をお願いしています。他所の神様が自分の

お下がり(家庭ごみ)を突っ込んでお帰り。店内の雑誌の一部をコピーし、雑誌は棚に戻してコピー代で済ませます。もつ金(無しお供え(商品)をお持ち帰りになります。所謂「万引き」です。そんなお客様は神様では絶対にありませ

で月を(テレビで)見てきました。月は昔も今も同様に地球を照らしています。下界では悪い神様が増えたことを天国の三波春夫はどう思っているかと命日の日、これを書きました。チャンチキト教えて〜。



ヨシイちゃんは秘阿似素ピアニスト

4月26日(日)下京区のホールで、NPO法人「音の風」の【卯月サロンコンサート】が開催された。時は4月26日、京の桜は散り終わった当日の出演者は、満開をやや過ぎた17名、うら若き乙女??

の中に白髪頭のヨシイちゃんも参加した。会場に着くのが少し遅れて既に前練習時間が過ぎていた。まあエエか!。朝、店のホールのピアノで充分練習し目を瞑っても出来る自信満々でいた。4番目に、私がG・ペアルの「河は呼んでる」を弾くと紹介された。

毎月の「朝粥会」で40名程の女性の前でお話もするが、そこは「お粥」と「おしゃべり」が主役の「会」で私が見詰められることは無かった。ご紹介で「白一点」言われたので余計に50人近くの女性の視線が演奏前の私に集中したようだ。

ジジババ

私には三人の孫娘がいる。お爺ちゃんに「馬鹿もん」と怒鳴られた。後から優しくする必要は無いのだから。

一人は埼玉育ちだが三人とも私を「ジジババ」妻を「ババ」と呼ぶ。声をかけられるとスコブル嬉しく目を細める。だが、少し違和感がある。幼い時も亡くなった今も、私の祖父母二人は「お爺ちゃん・お婆ちゃん」だから。まあ

「ジジババ」が流行り、お陰で行儀の悪い奴、嫁を世話する人が減って独身の若者が目に付く時代だ。少子化対策に「かまいの、おばはん」町の安全には怖く元気な「おっちゃん」が増えなあきまへん。

思うほどお世話好きの、「おばちゃん」が消えて久しい。お陰で行儀の悪い奴、嫁を世話する人が減って独身の若者が目に付く時代だ。少子化対策に「かまいの、おばはん」町の安全には怖く元気な「おっちゃん」が増えなあきまへん。

日ごる家内の視線も恐れているのに想定外の「目力」に圧倒されて、記憶した楽譜が消えたが「グランドピアノ」の前に一人で座った。(昨年は連弾で先生の横だった)が、譜面の位置も椅子の高さも、店のホールと違う。エイどうなとなれと、鍵盤に手を落としたが、動きはバラバラ行きつ戻りつし、自分でも情けない、「河や川どころか小川でも呼ばない」演奏で終わった。心臓の強さだけではピアノは弾けないものと悟りながら聴衆の方々に「ごめんなさい」の気持ちをこめての「礼」した。でも拍手を頂戴した。

京都&東山 ぶらりピカリ

16

京の大仏七不思議・続編

そば食い木像



左・後白河天皇と



右、そば食い木像

今更、改革は難しいので「多々」誤りを書くだろうが、お平らに許しをいただきたい。

法住寺は大台宗。ここに真宗開祖の親鸞聖人自作の像という「そば食い木像」がある不思議それは、親鸞が28歳で、比叡山で「範宴」という名で修行していた頃の話。範宴は、仲間にしられないように留守番役の自分の姿を彫って、毎夜山を下つて烏丸六角にある「六角堂」へお参りし、明け方に戻る、百度まいりをしていった。毎夜寺を抜け出す範宴に気付いた師の慈鎮和尚は、ある夜門下の弟子を呼び集め、一人一人の名前を呼び上げ、そばを振る舞った。範宴も「はい」返事し、そ

ばを食べたといつ。

寺内にいなかた範宴(親鸞)が山に戻り、話を聞いて首をかしげていると、一人が範宴が作った坐像の口にそばがついているのを発見。範宴が彫った木像が、身代わりを務めてくれ、木像は「親鸞のそば食い木像」として語り継がれているという。

又、この寺に、「忠臣蔵」で御馴染みの大石内蔵助が山科に閑居していた頃、この法住寺の身代わり不動尊に詣でて大願成就を祈誓されと伝えられている。その縁から四十七士木像が安置されていて、毎年12月14日には、義士会法要もある忠臣蔵縁の寺

としても知られている。



法住寺の催事は1月三十三間堂通し矢と同じ日に無病息災大根焚護摩供奉修2月3日節分

会鬼法楽豆まき星供開運厄除採灯大護摩供奉修5月3日後白河法皇忌5月1日〜7日法皇像特別開扉10月11日 今様歌合せ11月15日 身代不動尊大祭採灯大護摩供奉修・邦楽奉納稚児行列12月14日 義士会法要

相続よもやま話

(一) 古田玄州

「多士の縁」という言葉がある。人は死んだら終わり、という考えからは理解できない言葉だ。前世、今世、来世と続く命を想定して始めて理解出来る。

その今世を終わるにあたり、相続というやっかいな問題がある。縁によって結ばれた配偶者や子供、親族の生活と、去り行く者の意思の調和が求められる。

現行民法は人の意思による権利義務の変動を基本としている。相続に於いても人の最後の意思を出来るだけ尊重して、遺言という制度を設け

舞妓によるお献茶 お茶席

討ち入りそば接待

催事は年により変更があるかも判りませぬ。お調べの程を。【京大仏】七不思議の部・完

旧貞教学区に酒蔵が六つも有った

書類の整理をしている時、1904年(明治37年)12月現在の京都市酒造組合員名簿の「コピ」が出てきた。それには昭和6年に伏見市が京都市と合併する以前のこと、伏見の蔵は記していない。洛中の酒屋家の名簿には組合員83名の名が記載されていた。

できる確保することが出来るようにしている。この確保できるできる割合を遺留分と言つ。遺留分は、直径尊属のみが相続人である時は、遺産の3分の1、配偶者、子、孫がいる場合は2分の1と決められている。相続人が複数いる場合は、これを(遺留分)を法定相続分に從つて分けることになる。遺言で自由になるのは2分の1と記憶すれば良い。もっとも、慰留分を侵害する遺言も無効ではなく、遺留分を侵害された者が遺留分を取り戻すよう求めることが出来るようになってきている。これを減殺請求という。相続する側の意思にかからしめているのである。

旧市内東西南北に4分割して、東から18・31・19・15の酒蔵の名前が記載されていた。

東部18蔵の内、6蔵が、私の店が有る旧貞教学区だ。その内の3蔵で造られた銘柄は進歩長・月代(つきしろ)開化一だつたと覚えていて。月代と開化一の二銘柄は、戦後も店で仕入れ販売していた酒である。

昭和13年に酒の国家による統制が厳しくなり、統合や廃業で減少した。その頃、当店の西「タツノ建材」の場所に「北川藤兵衛」の名の酒造家があった。当店の井戸は1981年(昭36)東側の銀行がビル化され洩れたが、タツノ氏にお聞きすると「井戸水」は飲めないがマダ使っているとのこと、酒蔵だつたので深い井戸だつたのだらう。

今は貞教小学校も廃校になり、酒蔵は一つも無くなっている。が、名残として鞘町五条下に1880年(文久2年)麴屋宇兵衛氏「開化一」を醸造され、その後、五代目の中村宇吉氏が、株式会社中村園化学研究所を設立。同氏が長期熟成の日本酒の製造経験に基づき、「中村菌発酵濾液」をご発明。ユナルゲン・等を医薬品として製品化に成功され、現在、(株)中村堂の名称で盛業である。以つて、貞教には、今も酒が生きていると歎かしたい。(株)中村堂様ホームページを参考使用次号はこの続きを書く予定です。

酒屋で生きて 生かされて

第二十七話

麦酒と醗酵の狭間

1948年(昭23)2月、マツカーサーの意に沿った財閥解体措置の一環としての過度経済力集中排除法が出来ました。戦争中、国策で色々な産業が一つにされていたものを分割する法律です。1966年(昭41)大阪麦酒、札幌麦酒、日本麦酒の三社合同で出来た「大日本麦酒株式会社」は、その法律で名古屋より東を販路とした日本麦酒(株)(サツポロ)と西を販路にした朝日麦酒(アサヒ)に二分割されました。麒麟麦酒は当時は規模的に小さく分割を免れ、麦酒はその後3社時代が続きました。

私の店が「卸」になった1960年(昭35)頃の関西のビール市場は圧倒的に「朝日」が強く、「麒麟」は2割強程度、「日本」は1952(昭27)年迄京都滋賀では零でした。関西で強かった朝日は、関西の酒卸を「特約代理店(専売)制度」という名で麒麟・日本の商品は扱えない仕組みになってました。簡単に言えば「酒卸店」は「麦酒」会社に反抗が出来ない時代だったのです。1961年(昭36)協和発酵(株)がビール類似発泡酒「ラビー」

発売をすることになりました。(ラビーは合成ビールと言われていた)

（株）酒谷本店の4位の株主で取締役にも名を連ねている会社ですから「販売」しないとはいえない立場です。

朝日の圧力(?)で他の卸は「ラビー」を扱わず結局京都府では協和発酵と取引の有る当社と福井善四郎本店の2社

が高い酒税率を避けた発泡酒が売れると期待も有り扱いました。経済成長と共に消費

が拡大しだした時期ですが、協和発酵(株)もビールの転用を認められず、卸ルートも増えず苦戦3年余で撤退しました。

同じ苦労を263年(昭37)発売した「宝ビール」も味わいます。宝は500mlビール瓶

(中瓶)を世に残し撤退。

サントリー創業者
鳥井信治郎氏



1963年(昭38) 壽屋

(サントリー)はビール発売しますが前者の経験

朝日麦酒の特約店網を使って販売をしました。

当時朝日麦酒(株)社長だった山本為三郎氏と鳥井信治郎(サントリー創業者)の友情で成

立した(?)そうです。1958年(昭33)に私は、そ

れまで参加していた組織から離れ、酒卸業に専念するようになり、朝日麦酒と協和発酵

の調整で苦しみました。この経過があつて269年(昭66)(株)福井善四郎本店と業務提携になります。以下次号

春のお彼岸さんぽ

金澤 ひろあき

春のお彼岸の日。年度が終

わってほつとしました。

桂の南の久世に有る蔵王堂光

福寺という所まで散歩です。

新しく出来たJR桂川駅をちよつ

と東へいたつ所で、新駅がで

き随分行きやすくなりました。

平安時代、村上天皇が平安

京の裏鬼門のおさえとして、

浄蔵という験力の強い坊さん

に命じて作らせたというので

すから、千年の歴史を持つて

います。この浄蔵さんは、八坂の塔の所に住んでいて、死

んだ父、三善清行を生き返らせたり、嵐で傾いた八坂の塔



を念力でどつこいしょと元に戻したり、寺に入ってきた盗賊を金縛りにかけたリ...と、すこさを伝えるエピソードの多い人です。

このお寺は、八月三十一日に久世六斎念仏踊りを行うことでも有名です。久世あたりは、田んぼが広がる、ところどころにマンションが建ち、久世橋という交通の要所があるので、車の多い道が走っているような所ですが、

私の、ルイ・ヴィトン

下は酒屋袋、酒の「8L瓶」が2本入ります。私は今も重用し外出する時これを持ち歩きます。1951年(昭26)酒卸屋を始め、お得意先の酒小売店に進呈した物。終戦直後、父が陸軍飛行隊に納めた帆布を手に入れそれで一澤帆布さんに製作してもらいました。上の記事に有る協和醗酵の焼酎の名が見えますが、多分制作費協力をお願いしたのでしよう。58年前のものが今も使え、私にはルイ・ヴィトン以上の宝物。さすが一澤帆布製です。(注)袋に一澤名は無し。



編集後記

毎年のごと

前年度の友の会会員様が再入会されないお方があり「5月号」の「とんからりん」の発行部数が激減します。世間はゴールデンウィークでも編集者はグレーな気分になります。

小さい酒屋の「友の会」で大きな特典もないから「シャーナイ」かなあ。諦めもします。再入会の方が圧倒的に多く、新会員さんも増えたことで元気を戴き、今、116号をつくっている。

先月の「朝粥会」で村田弘道先生から、私も会員様も何時かは行ける「天国朝粥会」のご提案が有った。4月号に、そこへ行く前の前にしておく「遺言・相続」話を古田玄修様寄稿で連載を始めた。

土工段取りになりましたが、村田先生も古田玄修さんも「集西楽」を通じて最近お出会いし、そして「とんからりん」を通して「友の会会員」とつながった。縁の下(もと)の糸を何かの力が結び、つながりが広がった。

そう考えて見ると「サカタニ友の会」や「とんからりん」も満足はするのだが、それだけでは「店」は維持できない厳しい現実がある。会員様方のご負担、ご支援を得られるよう努めたい。